



青少年赤十字岐阜

JUNIOR RED CROSS GIFU 2024



日本赤十字社 岐阜県支部
Japanese Red Cross Society

〒500-8601 岐阜市茜部中島 2-9
TEL 058-272-3561
<https://www.jrc.or.jp/chapter/gifu/>



赤十字の活動は、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています

～3つの実践目標～

- ・ 生命と健康を大切にする「**健康・安全**」
- ・ 人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する「**奉仕**」
- ・ 広く世界の青少年を知り、仲良く助けあう精神を養う「**国際理解・親善**」



「命の重さ」

岐阜県青少年赤十字指導者協議会

会長 大藏 徹哉

(令和5年度 養老町立池辺小学校 校長)

まずもって、令和6年元日午後4時10分頃、能登半島において、大変大きな地震が発生しました。多くの方々が犠牲となり、今もって辛い思いをされている方々が多くおられます。犠牲となった方々に、哀悼の意を表し、被害に遭われた皆様に、改めてお見舞い申し上げます。

マグニチュード(M)7.6、最大震度7を観測した能登半島地震。石川県能登半島を中心に家屋の崩壊、大規模火災、津波など、甚大な被害をもたらしました。M7.6は、阪神淡路大震災のM7.3を大きく上回るそうです。気象庁の記録によると、内陸部を震源とする地震では、過去100年間で関東大震災(M7.9)に次ぐ規模の歴史的な大地震だそうです。そんな大地震が、我々が住む身近で発生したのです。

不謹慎ですが、「正月早々…なぜ、こんなことが」という思いが頭を過ぎります。お正月を一家団欒で過ごしていた方々、ご実家に帰省されていた方々、旅行で訪れていた方々など、きっと底知れぬ大きな衝撃を受けたであろうと思うのです。子どもたちに至っては、なかなか学校再開の目処も立たず、避難所生活を送っている子、一家で他県に避難した子、親元を離れ集団避難をした子、中には、高校受験・大学受験に立ち向かおうとしている子どもたちもいます。そんな子どもたちのことを考えると、胸が苦しく辛くなります。本当に、この世の中、いつ何が起きるか分からないことを、改めて痛感、実感しました。

だからこそ、今、我々は、何を考えなければならないのでしょうか。優先されるのは、「命」です。自分の「命」を最優先に守ること。「命」を守るために、何をしても逃げることを。普段から、避難に必要な物品の準備・心の準備をしておくこと。他人事と思わず、自分事として考えること。家族との集合場所を再度確認しておくことなどが考えられるでしょう。そして、1日1日を懸命に、精一杯生きること。1日1日を悔いのないように、頑張る、努力することが大切だと思います。自分の「命」の重さ、大切さ、意味を、何度も考え話していきたいと思っています。

1月下旬、「JRCオンライン語り部LIVE2023」に、6年生が参加させて頂きました。能登半島地震があったからではなく、学校の「命を守る教育年間計画」に位置づけられているもので、東日本大震災を経験された語り部さんのお話をじっくり聞くことができました。災害は今日も明日も自分の身に起こりうることだと子どもたちが「気づき」、どう行動すべきか「考え」、そのための備えとして「実行する」ことを考える、とても貴重な機会となりました。「僕は語り部さんのお話を聞いて、もし自分だったらと思うと、少し涙が出てきました。このことを忘れずに、家族や友達、先生などに話し、いま生きていることが奇跡だということを忘れずに、今を精一杯生きていきたいです。」子どもたちは、決して他人事ではなく、自分事として捉え、今、自分は何ができるのかを真剣に考える、大変素晴らしい機会を与えて頂きました。

最後になりましたが、細部にわたり温かなご配慮とともに、ご支援いただきました日本赤十字社岐阜県支部をはじめとする関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後も、岐阜県の青少年赤十字の活動がより活発に展開されることを祈念いたします。

赤十字社について

赤十字は、アンリー・デュナン(スイス人:第1回ノーベル平和賞受賞者)が提唱した「人の命を尊重し、苦しみの中にある者は、敵味方の区別なく救う」ことを目的とし、1864年に誕生し、現在では世界191の国と地域に広がる赤十字社・赤新月社のネットワークを生かして活動する組織です。

日本赤十字社はそのうちの一社であり、1877年の西南戦争をきっかけに佐野常民らが中心になって設立されました。

そして、現在では、世界各国の赤十字と手をつなぎ、赤十字の精神である「人道・博愛」の使命を実現するために、主に以下の①～③の柱のもと、国内外における災害救護をはじめとし、苦しむ人を救うために幅広い分野で活動しています。

- ①いのちを救う 国際活動、国内災害救護活動、医療事業、血液事業、救急法講習等
- ②せいかつを支える 社会福祉事業、赤十字奉仕団
- ③ひとを育む 青少年赤十字、看護師等養成



青少年赤十字(JRC:Junior Red Cross)について

- 青少年赤十字は、第一次大戦(1914～1918)時にカナダ・アメリカ・オーストラリアの児童・生徒たちがヨーロッパの戦場となった国々の少年・少女や傷病者を慰めるためクリスマスカードや手紙を贈ったり、学校には文具、傷病者には下着や副木・つえなどの援助を行ったりしたことに始まります。
- 第一次大戦終戦の翌年(1919.2.1)、アメリカ・イギリス・イタリア・日本・フランスは、第一次世界大戦の経験から、「赤十字が戦時の救援だけでなく、平時においても、災害救護、衛生、社会福祉、看護、青少年赤十字などの事業を行うべきである」と赤十字社連盟の創設を呼びかけました。そして、第2回赤十字社連盟総会(1922)において、各国の赤十字社に対し、青少年赤十字の活動を積極的に行うよう勧告されました。
- 日本においては、日本赤十字社や文部省のバックアップを受け、現在の滋賀県守山市立守山小学校の校長先生が中心となって、**大正11年(1922)に日本で最初の少年赤十字団が結成**されました。(世界においては、14番目の加盟になります。)その翌年、大正12年9月1日(1923)に起こった関東大震災での被災者に対し、食糧や文房具などの支援を行ったことが最初の活動と言われています。
- 昭和23年(1948)には、活動するメンバーが小学校高学年から中学校、高等女学校、青年学校にも拡大されてきたこともあり、「**青少年赤十字**」と名称が統一されました。
- 現在では、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、赤十字のことを正しく理解し、進んで赤十字運動に参加し、青少年の一人一人が世界の平和と人類の福祉に貢献できるように、**①「健康・安全」 ②「奉仕」 ③「国際理解・親善」の3つを「実践目標」として掲げ、学校(園)や日常生活の中で、望ましい人格と精神を自らつくりあげることを目的としています。**
- 岐阜県においては、令和5年度末現在、**671校(園)が青少年赤十字に加盟**しており(次頁参照)、大変多くの子どもたちが青少年赤十字のメンバーとして活躍しています。
- 日本赤十字社岐阜県支部においては、教職員対象の指導者講習会や児童生徒対象のリーダーシップ・トレーニング・センターの実施、国際交流事業、子ども新聞プロジェクトなどを実施して人材育成を行うと共に、JRC未来応援プロジェクト推進校を指定し、学校における青少年赤十字活動の推進のお手伝いをさせてもらっています。

青少年赤十字の目指しているもの

- ①いのちと健康を大切にできる力を育てる
- ②社会的に弱い立場にある人たちの手助けができる力を育てる
- ③世界が抱える問題に関心をもつ力を育てる

1 青少年赤十字の県内加盟状況

(1) 加盟状況(令和6年3月末)

県内のすべての公立・私立の小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校に加盟していただいております。

今後は、幼稚園・こども園・保育園等や高等学校への加盟の働きかけを行い、多くの園や高等学校が青少年赤十字の活動に参加していただくことを目指します。また、加盟していただいた学校や園に対して、青少年赤十字に関わる活動内容が充実するように、支援を行っていきます。

青少年赤十字 加盟校(園)	幼稚園 こども園 等	小学校		中学校		義務教育学校	高等学校		特別支援学校	総数
		公立	私立	公立	私立	公立	公立	私立	公立	
令和5年度 全体数		349	2	172	9	6	70	22	23	671
本年度 加盟校数内訳	62	349	2	172	9	6	34	14	23	
加盟率		100%	100%	100%	100%	100%	49%	64%	100%	

(2) R5年新規加盟校(全10校(園))

幼稚園(6園)			義務教育学校(2校)	高等学校(2校)
北方町立こども園	羽島市立西部幼稚園	坂祝町立坂祝幼稚園	北方町立北学園	岐阜県立加納高等学校
平島学園こじか幼稚園	那加学園子苑第一幼稚園	那加学園子苑第二幼稚園	北方町立南学園	松翠学園岐阜女子高等学校

2 各種会議・研修会の実施状況

今年度は多くの会議、研修会が従来のような対面で行われました。荒天による警報発令で実施できなかったものもありますが、開催できたものに参加してくださった方々の感想からは、参加してよかったというものがほとんどでした。

令和5年度			
本社等主催	支部青少年赤十字担当者会議 リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会 3B指導者協議会会長・支部担当者研究会 3B青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会 青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会 全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会 指導主事対象青少年赤十字研究会 青少年赤十字スタディー・センター	Web会議 東京都 Web会議 長野県 東京都 東京都 東京都 山梨県	(4/6) (5/26,27,28) (6/2) (6/19,20) (6/30) (7/11,12) (R6.1/12) (R6.3/22~26)
	岐阜県青少年赤十字指導者協議会第1回役員会 岐阜県青少年赤十字指導者協議会総会 岐阜県青少年赤十字賛助奉仕団第1回役員会 岐阜県青少年赤十字賛助奉仕団総会 リーダーシップ・トレーニング・センター(小中学生対象) 指導者養成講習会 リーダーシップ・トレーニング・センター(高校生対象) 岐阜県青少年赤十字指導者協議会第2回役員会 岐阜県青少年赤十字賛助奉仕団第2回役員会	全て岐阜県支部にて 対面で開催 ※警報発令で中止	(6/6) (6/6) (6/7) (6/7) (7/31) (8/1) (8/17) (R6.2/20) (R6.2/21)

<支部主催研修会>



災害用炊飯袋を使った炊飯体験

リーダーシップ・
トレーニング・センター
(小中学生対象)



AEDを使用した心肺蘇生法

指導者養成講習会
(教職員対象)

3 授与関係

金色枠感謝状(加盟10年以上)

岐阜市立華陽小学校	岐阜市立市橋小学校	岐阜市立岐阜中央中学校	郡上市立大和南小学校
岐阜市立日野小学校	岐阜市立岩小学校	岐阜市立梅林中学校	郡上市立大和中学校
岐阜市立島小学校	岐阜市立早田小学校	岐阜市立厚見中学校	八百津町立久田見小学校
岐阜市立三里小学校	岐阜市立芥見小学校	海津市立城南中学校	岐阜県立長良高等学校
岐阜市立長森南小学校	岐阜市立城西小学校	関市立倉知小学校	

銀色枠感謝状(加盟5年)

岐阜市立岩野田中学校	多治見市立養正小学校	恵那市立武並小学校	岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校
岐阜市立藍川中学校	多治見市立精華小学校	恵那市立長島小学校	岐阜県立羽島特別支援学校
岐阜市立藍川北中学校	多治見市立共栄小学校	恵那市立東野小学校	岐阜県立海津特別支援学校
岐阜市立長森南中学校	多治見市立昭和小学校	恵那市立大井第二小学校	岐阜市立加納幼稚園
岐阜市立境川中学校	多治見市立小泉小学校	恵那市立三郷小学校	岐阜市立岐阜東幼稚園
関市立旭ヶ丘小学校	多治見市立池田小学校	恵那市立山岡小学校	学校法人天使学園天使幼稚園
関市立富岡小学校	多治見市立滝呂小学校	恵那市立明智小学校	学校法人浄性寺学園まどか幼稚園
関市立富野小学校	多治見市立南姫小学校	恵那市立上矢作小学校	恵那市立武並こども園
関市立緑ヶ丘中学校	多治見市立根本小学校	恵那市立恵那西中学校	恵那市立みさとこども園
関市立下有知中学校	多治見市立北栄小学校	恵那市立恵那東中学校	恵那市立大井こども園
関市立富野中学校	多治見市立陶都中学校	恵那市立恵那北中学校	恵那市立城ヶ丘こども園
美濃市立美濃小学校	多治見市立多治見中学校	恵那市立岩邑中学校	恵那市立東野こども園
美濃市立大矢田小学校	多治見市立平和中学校	恵那市立山岡中学校	恵那市立やまびここども園
美濃市立藍見小学校	多治見市立北陵中学校	高山市立東小学校	恵那市立岩村こども園
美濃市立中有知小学校	多治見市立笠原中学校	高山市立久々野中学校	恵那市立上矢作こども園
美濃市立美濃中学校	土岐市立下石小学校	岐阜県立羽島北高等学校	恵那市立山岡こども園
美濃加茂市立三和小学校	土岐市立駄知小学校	岐阜県立岐阜商業高等学校	恵那市立明智こども園
美濃加茂市立東中学校	土岐市立土岐津中学校	岐阜県立八百津高等学校	恵那市立串原こども園
可児市立土田小学校	恵那市立中野方小学校	岐阜県立東濃フロンティア高等学校	恵那市立中野方こども園
可児市立広陵中学校	恵那市立恵那北小学校	岐阜県立飛騨高山高等学校	恵那市立飯地こども園
八百津町立錦津小学校	恵那市立飯地小学校	学校法人飛騨学園高山西高等学校	

4 各事業

(1) 青少年赤十字マーク入りテントの寄贈

令和5年1月～12月末迄の間に青少年赤十字に新規加盟した学校(園)を対象に、青少年赤十字マーク入りのテント(3m×3m)を寄贈しています。

今年度は、令和5年7月13日(木)に新規加盟校を代表して、こばと第3幼稚園にて贈呈式を行いました。園児の皆さんにはとても喜んでもらいました。



(2) 大型防災絵本の寄贈



青少年赤十字に加盟する県内の幼稚園、保育園、こども園等に対する教育支援の一つとして、防災に関する大型絵本(50cm×50cm)を贈呈しました。贈呈式は50園を代表して、北方町立こども園にて実施しました。贈呈式後には、園の



先生による読み聞かせや、段ボールベッド等を使った避難所体験を行いました。

(3) 岐阜県赤十字有功会 図書贈呈



子どもたちに豊かな心を育んでもらうことや、赤十字について知ってもらうことを目的として、岐阜県赤十字有功会から青少年赤十字加盟校671校の内、令和5年度新規加盟校(園)を対象に、図書を贈呈致しました。

令和6年2月27日に本年度の贈呈校10校を代表してこじか幼稚園で贈呈式を行いました。

※ 赤十字有功会とは、日本赤十字社の活動支援を行っていただくための有志の方々による支援団体です。



5 支部助成事業

JRC未来応援プロジェクト

本支部では、園児・児童・生徒の皆さんが、地域や世界の人びとの平和や福祉に貢献できるよう、日常生活や学校生活での活動をととして、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人びととの友好・親善の精神を育成することを目的とした活動を推進しています。この目的達成のためJRC未来応援プロジェクト活動助成金を交付して、子どもたちが健康・安全やボランティア、国際理解、人権尊重の精神、SDGsに関する様々な体験活動をととして「気づき・考え・実行する」姿勢を育む活動を応援し、その活動の輪を広げます。令和5年度は、JRC活動に積極的に取り組んでいただけの学校や幼稚園を募集し、35校(園)を指定させていただきました。それぞれどのような活動をされたのか、その一部を紹介させていただきます。

防災見学 【山県市立伊自良北小学校】

8月28日(月)は、2学期始業式と同時に防災週間の始まりです。

8月31日(木)は、土砂災害警戒区域に立地する本校ならではの、垂直避難訓練を実施しました。

9月1日(金)防災の日は、子どもたちもとても楽しみにしている「防災見学」です。なかよし班(異年齢学習班)に分かれ、いくつかの乗り物を使い継ぎ、根尾谷地震断層観察館を目指します。岐阜駅まで乗った岐阜バス「清流ライナー」は、真っ赤な連結バスでした。JR東海道線は、自分で切符を買って乗りました。背が低いと券売機の画面が見づらく買い方が難しかったのですが、高学年のお兄さん、お姉さんがやさしく教えてくれて、無事大垣駅にたどり着きました。樽見鉄道の1時間の長旅は、途中で眠くもなりましたが、きれいな景色を見て水鳥駅にたどり着きました。

根尾谷地震断層観察館では、地震ですごく大きな断層ができたことや、地震の起こり方を講師の先生から教えていただいたり、地震の体験をしたりしました。この先、確実に起こるといわれる南海トラフ地震に向けて、自分たちができることを考えました。

自分や仲間の命を守るためには、「今何をするべきか」を考えることが大切なことを学びました。



説明を熱心に聞く子どもたち

「子ども主体の探究と協同の学び」の実現に向けて 【郡上市立高鷲小学校】

高鷲小学校では、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」を踏まえ、令和5年度の活動テーマを「世界の教育について知り、自分たちの学びを高めよう」に設定しました。テーマ前段の「世界の教育について知り」については、世界の教育状況が分かる本を購入するなど、世界の教育について学べる環境を整えました。後段の「自分たちの学びを高めよう」については、従来の「教師主導の一斉授業」から脱却し、「子どもが主体となって、ペアや4人グループ等で探究・協同する21世紀型の学び」へと転換することを目指しました。これは、学習指導要領の中核である「主体的・対話的で深い学び」の実現につながります。

「教員が授業の力量を高めることが、子どもの学びの質を高めることにつながる」と考え、7月5日(水)には、高鷲小学校自主公開授業研究会を開催しました。4時間目は全学級が授業公開、5時間目は4年生と6年生がグループの学びを中心とした授業を公開しました。その後の研究協議会では、県内外の100名の参加者と共に、子どもの学びの事実を基に語り合うスタイルで研修を深めました。協議会の後は、佐藤 学 東京大学名誉教授の講演を聞き、21世紀型の「探究と協同の学び」に関して理解を深めました。

上記の研究会を節目に、高鷲小学校では「子ども主体の探究と協同の学び」が日常化しつつあります。今後も、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」の実現に向けて、授業改善を続ける予定です。



学びを深める子どもたち

持続可能な社会の創り手の育成 【郡上市立郡南中学校】

SDGs源流education実証校である郡南中学校では「持続可能な社会の創り手の育成」を研究主題に掲げ、多様な他者との協働により、持続可能な社会を目指し、主体的に参画できる資質・能力を育む取組が、令和4年度から行われています。

令和5年12月5日には3年計画2年次の中間報告として、1年生・3年生の取組発表や2年生の公開授業が行われました。取組発表は生徒会役員の司会により進められ、生徒が主体的に活動する姿に感銘を受けました。1年生も3年生も自分たちが体験を通して感じた郡上市の魅力をいかに伝えるかについて、分かりやすくプレゼンテーションを行いました。参観者からの質疑に、発表した生徒たちの力強く答える姿が見られ、とても頼もしいものでした。SDGsスクール・アドバイザーの方からも適切な助言を受けるなど、地域人材の活用が積極的に行われています。

2年生の公開授業は全部で6つのグループに分かれ、それぞれが大切にする方向性やコンセプトを中心にした話し合いがなされていました。どの生徒も年度末に予定されている「郡南マルシェ」での出店に向け、地域の協力者の方々との熱心な話し合いが進められていました。美並町の魅力に触れ、自分の思いや考えを熱心に仲間に伝えたり、マルシェに向けて自分ができることを見つけようとしたりする姿が数多くみられる素晴らしい報告会でした。



熱心に話し合いを深める生徒たち

こどもたちの国際理解を深める 【うめま第一幼稚園】

うめま第一幼稚園では、オンラインを活用し、海外の幼稚園、保育園との交流を通して園児たちが外国や世界のSDGsに興味関心をもてるよう、5歳児、6歳児を対象に、月次で計画されたプログラムを進めています。

12月19日に訪問したときは、オンラインを活用した、シンガポールの幼稚園の園児たちとの交流の日でした。プロジェクトで映し出されたシンガポールの園児たちの様子を園児たちは興味津々でした。食い入るようにして相手の様子を見ながら、一生懸命に話を聞いています。コーディネーターが、常に日本とシンガポールの双方に気を配り絶妙なタイミングで話を切り出し、英語と日本語が交互に話されるため、話されていること、尋ねられていることなどは問題なく理解できます。また、簡単な英語はうめま第一幼稚園の園児たちはバッチリとキャッチしていました。「こんにちは」って何て言う？「Hello!」と元気よく答える園児たち、シンガポールの園児たちにも同様の投げかけを英語で行い、「こんにちは」が返ってくる。そうしたリアルタイムのやり取りがとても自然に行われていました。

同園では、この他にも「オーストラリアの水」「ケニアと生き物」などの理解も深め、継続的に環境や世界にも目を向け、今できることを子どもたちと取り組んでいくことに力を入れています。



リアルタイムでシンガポールの幼稚園と交流する園児たち

地域の未来について考える ～自分で考え、行動するための防災学習～ 【高山市立東小学校】

本校では、毎年、地域コーディネーターとの連携やゲストティーチャーの協力により、地域の防災、福祉等について学びながら、地域学習を推進しています。

ゲストティーチャーによる授業の例として、岐阜大学の村岡特任准教授を講師にお迎えし、4, 5, 6年の各学年、12月には全校児童と保護者を対象に「親子防災学習」でご指導いただき、計4回の防災学習を実施しました。4年生は、地震時に割れて危険だと思われる所に、卵のパックをガラスに見立てて置く等、体験を通して学びました。5, 6年生は、地域や家庭の中での命の守り方について学び、これからの防災に必要なものは何かについて考えることができました。親子防災学習では、全校児童、保護者で学ぶことができ、家庭で防災について考えるよい機会となりました。本校では、その他にも、まちづくり協議会のご協力により、全ての学年において、防災学習を行い、スパイラルに学ぶ機会があります。

子どもたちは、学年に応じた様々な視点での学びを通して、地域の防災の担い手として、自分で考え、行動する力を高めています。



机を揺らしてもらい
実際の揺れを体験する子どもたち

令和6年度JRC未来応援プロジェクトの指定校(園)及びテーマ

20万円助成 5校(園)、10万円助成 30校(園)

No.	学校名・幼稚園名	テーマ
1	こじか幼稚園	「自分の命を守る」
2	岐阜市立加納小学校	安心安全なわが町「加納」 ～「加納小学校安全マップ」の作成・検証・修正を通して～
3	岐阜市立藍川中学校	地域との連携を重視した防災教育
4	大垣市立上石津学園	まちづくり・キャリア 「上石津のためにできること～いつも心に上石津～」
5	岐阜県立池田高等学校	災害に強い地域社会とは何か、またその為にできることについて考えよう
1	長森幼稚園	強い心と体をつくって楽しいくらしをめざそう
2	子苑第一幼稚園	『おじいちゃん、おばあちゃんに喜んでもらおう大作戦』
3	子苑第二幼稚園	『自分と仲間を大切に』 自分:自分の命は自分で守る防災教育の取組 仲間:他者への思いやりの心を育てるSDGsの取組
4	うめま第一幼稚園	世界の人びととの友好・親善の精神を育成することにより世界に興味、関心を持つこと。
5	みたけ幼稚園	世界の人びととの友好・親善の精神を育成することにより世界に興味、関心を持つこと。
6	美鳩幼稚園	「多様な災害を想定した避難訓練を通して自他の命の大切さを考え、安全に行動する力を養う。そのための知識や最善の行動を体験を通して身につける。」
7	各務原市立稲羽東小学校	めざせ!歯みがき名人!
8	各務原市立中央小学校	未来の地球を守るために、私たちができること
9	山県市立桜尾小学校	自分の命は自分で守る 自分の健康は自分でつくる
10	瑞穂市立穂積小学校	穂積が好きプロジェクト
11	瑞穂市立西小学校	体験を通して、地震や水害から自分・家族・地域の人たちの命を守る方法を考えよう
12	岐南町立北小学校	『豊かに生きる子 考える子・思いやる子・やりぬく子』
13	海津市立海津小学校	人とつながり、自ら考え行動する力を身に付けた児童の育成
14	郡上市立相生小学校	『「防災・福祉」自ら気付き、考え、実行する児童の育成』
15	郡上市立牛道小学校	「深めよう地域の絆、育てよう進んで働く心、見守ろう地域の子どもたち」
16	郡上市立白鳥小学校	進んで楽しく運動し、自分の体力の向上と方法について考える
17	郡上市立明宝小学校	自分たちができる持続可能な取組を考える。進んで運動に取り組み、運動の楽しさを実感するとともに体力向上の必要性について考える。
18	七宗町立上麻生小学校	「命と平和・友情」の大切さについて主体的に考える子の育成 ～命・関わり・感謝を大切にする上麻生っ子を目指して～
19	下呂市立竹原小学校	「知ろう!」「考えよう!」「やってみよう!」 ふるさと竹原
20	下呂市立馬瀬小学校	馬瀬の魅力再発見!ふるさと大使を目指して
21	岐阜市立岐阜清流中学校	岐阜の清流「長良川」と共に生きる
22	岐阜市立梅林中学校	「温言温動の精神」を身に付け、人とのつながりを大切に生きた生き方を学ぶ
23	山県市立高富中学校	ふるさと高富を知り、考え、守ろう、私たちの命
24	山県市立伊自良中学校	美術の授業「柿渋染めで染めよう」で作った手ぬぐい等を、 グリーンビレッジのお年寄りや希望が丘特別支援学校の仲間へプレゼントしよう。
25	大垣市立江並中学校	江並中人権宣言を具現し、誰もが安心・安全に生活できる江並中
26	揖斐川町立谷汲中学校	お互いを大切にし、誰もが安心してくらせる谷汲
27	郡上市立高鷲中学校	地域が誇る高鷲中生 ～高鷲を考え、高鷲で動く～
28	郡上市立郡南中学校	持続可能な社会の創り手の育成 —SDGs×清流長良川 総合的な学習の時間を中核に置いた教育課程の創造—
29	恵那市立恵那西中学校	地域住民の一人として主体的に行動できる力の育成
30	羽島市立桑原学園	学校・家庭・地域の三者で学び合い、気付き、考え、実践する防災・減災学習

6 青少年赤十字作品コンクール

<入賞代表作品紹介>

岐阜県知事賞



岐阜市立加納中学校 2年
塚原 ひなた

岐阜県議会議長賞



瑞穂市立牛牧小学校 4年
金洞 了霸

岐阜県教育委員会教育長賞



高山市立東小学校 3年
矢簞原 呼世



大垣市立北中学校 1年
武藤 彩愛



大垣市立東中学校 2年
今井 小百合



高山西高等学校 3年
美素 富稀

今年度は岐阜県青少年赤十字加盟園・加盟校のうち、延べ233校(園)からご応募をいただきました。全体で2,488名(書の部 2,000名・絵画の部 488名)の皆さんから作品応募がありました。応募していただいた皆さん全員に参加賞を、そして、入賞された皆さんには賞状と副賞をお渡しさせていただきました。

表彰式は10月29日(日)に日本赤十字社岐阜県支部にて行いました。その後、優秀な作品を県内8か所で展示しました。令和6年度も作品を募集させていただく予定です。多くの方の応募をお待ちしております。

【参加者数】

	絵 画		書	
	応募校数	参加者数	応募校数	参加者数
幼稚園・保育園・こども園等	3	201		
小学校	44	160	107	1,343
中学校	14	123	55	591
高等学校	1	3	7	61
特別支援学校	1	1	1	5
合計	63	488	170	2,000



表彰式 日本赤十字社岐阜県支部



イオンモール各務原インター 展示会場

2024年4月1日 発行

〔発行・編集〕 日本赤十字社岐阜県支部
〒500-8601 岐阜市西部中島2-9
TEL 058-272-3561